

2023 年 7 月 25 日

燃料電池車の実証実験を日本で実施

「燃料電池実験車両 BMW iX5 Hydrogen」の公道走行を開始

日本における実証実験の結果は、生産車への開発に反映

BMW は、ガソリン・エンジン車、ディーゼル・エンジン車、プラグイン・ハイブリッド車、48V マイルド・ハイブリッド車、電気自動車、そして、燃料電池車と、今後、幅広い製品ラインアップを提供予定

ビー・エム・ダブリュー株式会社（代表取締役社長: 長谷川正敏）は、燃料として水素を充填し、水素エネルギーにより発電し電気を電池に蓄え、電気によりモーターを駆動させて走行する「燃料電池実験車両 BMW iX5 Hydrogen（アイエックスファイブ・ハイドロジェン）」の日本における公道走行を開始し、本日より本年年末まで、実証実験を開始する。

BMW グループは、動力源として可能な限りの複数のパワートレインを提供する、世界でも稀な、プレミアム・ブランドに特化した自動車メーカーであり、高効率ガソリン・エンジン搭載車、クリーン・ディーゼル・エンジン搭載車、外部からの充電も可能なプラグイン・ハイブリッド・システム搭載車、電気モーターによるアシストを得られる 48V マイルド・ハイブリッド・システム搭載車、電気のみで駆動する電気自動車をラインアップし、販売を行なっている。

燃料電池車は、新たなパワートレインの 1 つとして注目を浴びている車両であり、BMW グループは、2011 年よりトヨタ自動車と燃料電池車の基礎研究を共同で行なっている。水素を燃料とする燃料電池車は、燃料の充填に時間を掛けずに、長距離走行可能となることが最大の特徴の 1 つであり、「燃料電池実験車両 BMW iX5 Hydrogen」の場合、燃料である水素が空の状態から、約 3 分程度の水素の充電で、約 500km もの長距離を走行する事が可能となる。

「燃料電池実験車両 BMW iX5 Hydrogen」は、BMW X5 をベースにした燃料電池車である。BMW X5 は、優れたオフロード性能、日常での高い機能性、路面での高いパフォーマンスを融合した「スポーツ・アクティビティ・ビークル（SAV）」の先駆的モデルとして、1999 年に誕生したモデルである。

BMW グループは、2020 年代後半に燃料電池車を市場投入する予定であり、その実現に向け、ドイツやアメリカの主要国において、「燃料電池実験車両 BMW iX5 Hydrogen」を走行させ、実証実験を実施しているが、今回、車両に対する顧客要求が高い日本においても、公道での実証実験を実施する事にした。

日本における実証実験においては、日本各地にて実際に車両を走行させ、様々なデータを取得すると共に、官公庁や行政機関、大学を訪問し、各方面の専門家の視点から製品に対するフィードバックを貰い、それら全てをドイツにある BMW グループ本社に送り、製品開発に役立てる。

本件に関する読者および視聴者からのお問合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>